

お知らせ

コロナ禍が収まりを見せない中、皆さまのそば打ち活動はいかがでございましたでしょうか。

全麺協本部としても、年度事業のほとんどがストップしたままで大変苦慮しております。

しかし、このままでは皆さまのご期待に添うことができません。コロナの沈静化を待つのではなく、With コロナの観点から事業再開を目指しています。

先般、7月16日に開催された第2回理事会において今後の全麺協事業のガイドラインを決定していただき、本格的に事業再開の方向付けをしたところです。詳細はホームページをご覧ください。

さて、今回皆様方にお知らせすることは私たち全麺協にとりましても重要なことです。

先頃、群馬県のそば打ち職人を養成する団体が記者会見を開いて、全国高校生そば打ち大会を開催するというニュースがありました。

私たちと友好関係にある日本麺類業団体連合会（日麺連）は同じ名称の大会を10年も前から開催し、趣旨に賛同した私たち全麺協は全面的に協力してきました。

残念ながら、コロナ禍で今年度の大会は中止ということになりました、今後も私たちは日麺連の方針を支持することとしております。

この事業は日本の伝統文化「そば」を若者に普及、継承させるためにこつこつと努力を積み重ねてきた事業であります。これになんの断りもなく同じような事業を実行しようということはとうてい理解できません。同様なことは最近、私たちの身近なところで類似団体によるそば打ち段位認定制度を模倣するという事例もありました。

私たちは正しい情報の下に正しく行動し、決して信義にもとる行為はあってはならないと思います。それが「そば打ちは紳士淑女の趣味」といわれる由縁だと思えます。

日麺連からの文書を添付しますが、皆さま方のご理解とご協力をお願いするものです。

令和2年7月16日

一般社団法人 全麺協

正会員団体並びに所属個人会員の皆さまへ

一般社団法人 全麺協

理事長 中谷 信一